「十字架の恵みと神の愛」ローマ５：６－１１　　１８・３・２５

Ⅰ　今週は受難週です。主の十字架の恵みを覚えて過ごしましょう。

神が愛された私達の弱さ、不敬虔、罪。それにもかかわらず神は私達を愛し、主が私達の罪の為に十字架で死なれ救いを成就された。ハレルヤ！

１.「実にキリストは、私たちがまだ弱かったころ、定められた時に、不敬虔な者たちのために死んでくださいました」：６。

私達がまだ「弱かった頃」＝つまり、自分の力で、神の律法、正しい戒めを守ることが出来ない「弱さ」を持つ私達の為に、主は十字架で死んで下さった。

「人（私達）は律法を行うことによってではなく（私達は弱く、自力で神の律法を完全に守る事や、外面の行為だけではなく心の中に悪い思いもなく神の目に合格する事は、不可能、無力、弱い)、ただイエス・キリストを信じることによって義と認められる（神の前に無罪と認められる、すべての罪が赦される、神と正しい関係に入れる）と知って、私たちもキリスト・イエスを信じました。律法を行うことによってではなく（自分の力で律法を完全に守る事は不可能と認め)、キリスト（私達の代わりに律法を完全に守られ、私たちの罪を負い、身代わりに十字架で刑罰を受けられた方）を信じることによって義と認められるためです。というのは、肉なる者（生まれながら罪ある人間）はだれも、律法を行うことによっては義と認められない（義なる神の前に合格者はいない）からです」（ガラテヤ２：１６)。

２.「不敬虔な者たち」＝私達。

不敬虔＝神を恐れ敬わない。神なんかいらないと思い上がる。神なんかいないと思い上がり、自分の人生は自分の力で生きるのだと高ぶる。

事実は違う。私たちの命、人生は神からいただいているもの。人は皆、自分の力で生きている者はいない。みな、神に生かされている。その恵みを知らず、神に感謝もしない不敬虔。

そんな状態の時にも、神は私達を愛して主を十字架につけられた。

主も私達を愛して、十字架で死んで下さった。何という愛！

「私は、主を信じ洗礼を受けます」と言う人の為にだけ十字架で死なれたのではない。

「神なんかいるもんか」と反抗していた時に、主は十字架で死んで下さった。

ここに驚くべき愛と恵みがある！

３.「私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれた」：８。

「私たちがまだ罪人であったとき」。

私たちの罪とは＝

「彼らのうちの女たちは自然な関係を自然に反するものに替え、同じように男たちも、女との自然な関係を捨てて、男同志で情欲に燃えました。男が男と恥ずべきことを行い…彼らは、してはならないことを行っているのです。彼らは、あらゆる不義、悪、貪欲、悪意に満ち、ねたみ、殺意、争い、欺き、悪巧みにまみれています。また彼らは陰口を言い、人を中傷し、神を憎み、人を侮り、高ぶり、大言壮語し、悪事を企み、親に逆らい、浅はかで、不誠実で、情け知らずで、無慈悲です」　　（ローマ１：２６－３１)。

これらの私たちの罪の為に主は十字架で死んで下さった！

「イエスはまた言われた。『人から出て来るもの、それが人を汚すのです。内側から、すなわち人の心の中から、悪い考えが出て来ます。淫らな行い、盗み、殺人、姦淫、貪欲、悪行、欺き、好色、ねたみ、ののしり、高慢、愚かさで、これらの悪は、みな内側から出て来て、人を汚すのです』」

（マルコ７：２０－２３)。

これらの私達の罪が主を十字架につけた！

「肉（生まれながらの私達の心にある罪の性質）のわざは明らかです。すなわち、淫らな行い、汚れ、好色、

偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、ねたみ、泥酔、遊興」
（ガラテヤ５：１９－２１）。

これらの私達の罪の為に主が死なれた！

「人々は、自分だけを愛し、金銭を愛し、大言壮語し、高ぶり、神を冒瀆し、両親に従わず、恩知らずで、汚れた者になります。また、情け知らずで、人と和解せず、中傷し、自制できず、粗野で、善を好まない者になり、人を裏切り、向こう見ずで、思い上がり、神より快楽を愛する者になり、見かけは敬虔であっも、敬虔の力を否定する者になります」（Ⅱテモテ３：２－５）。

私達が主を信じていなかったら、この御言葉に示されている罪にもっともっと縛られた人生を送っていた事だろう。

※人と比べないで、主を信じていない自分と今の自分を比べてみたい。主に救われていなかったら、もっと悪い人生を送っていた！

このように罪深い私達を神は愛し、主を十字架につけ、私達を救って下さった恵み、また、御聖霊が心に住み、日々、聖め、主の姿に変え続けて下さっている恵みを感謝します。

※神の驚くべき３つの恵み。

①主の十字架の恵みによる私たちの過去、現在、未来のすべての罪の赦しの完成。それ故に、私達が正直に自分の罪を神に告白する時、完全な赦しが与えられる＝義認の恵み。

②罪の赦しだけではなく、この地上で、私達に、悪魔と罪に打ち勝つカ、聖くなるカが、神の武具＝御言葉、祈り、内住の御聖霊の助け、御霊の結ばれる実によって与えられる＝聖化の恵み。

③時満ちて、地上で死を迎えたなら、滅びの暗やみ、地獄ではなく、主が迎えて下さる天国に入ることが出来る＝栄化の恵み！

Ⅱ　神が明らかにしておられる罪人である私達への愛と驚くべき恵み

「私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれたことによって、神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます」：８。

愛の大きさは、相手がどのような時に示すかで分かる。

相手が親切にしてくれた時、相手に愛を示すのは難しくない。

しかし、相手が自分に敵対し、悪を重ね、罪人である時、愛を示すのは簡単ではない！

神は、それをして下さった。

「私達が、罪を認め洗礼を受けますと言った時」ではなく、「私達がまだ罪人（神に逆らう者、神の正しい道という「的から外れた」罪人＝罪の原語の意味＝「的外れ」）であった時」神は私達を愛し、ひとり子を十字架に与えられた。何という大きな愛！感謝！

Ⅲ　神の恵みへの私たちの応答

「それだけではなく、私たちの主イエス・キリストによって、私たちは神を喜んでいます（まず私達を先に愛して下さった神を愛し喜び、神を賛美し礼拝する。その姿が証しとなる！）。キリストによって、今や、私たちは和解（和解の手を先に差し出して下さったのは神！）させていただいたのです」：１１。

和解の素晴らしさは、神と親しいお交わりが出来るという最高の恵み！これからも神と親しいお交わりを続けたい！

「私たちは滅び失せなかった。主のあわれみは尽きないからだ。それは朝ごとに新しい。」
（哀歌３：２２、２３）